

市政ニュース

昭和43年12月1日発行 第203号
毎月1日15日発行 第一部2頁
発行所 五所川原市役所

旧十川、参院建設委で論議

< 建設省が現地調査 >

佐々木市長は、去る十月三日、八月の集中豪雨の被害状況を視察にきた参議院建設委員会災害地視察団に對して、旧十川、松野木川改修、および飯詰川多目的ダムの早期着工を精力的に陳情しました。

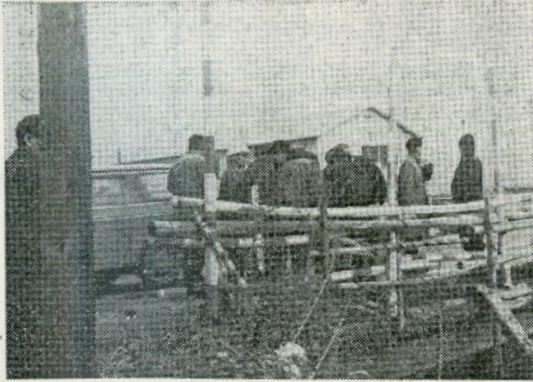
参議院建設委員会は第十九回国会閉会後の十一月十二日開かれ、視察団の沢田政治氏は、つぎのように説明しました。「青森県では、八月中旬の集中豪雨のはんらんで、五所川原市等に大きな被害をもたらした岩木川の支流旧十川を中心に、治水について調査いたしました。

旧十川は、岩木川合流点まで約二十キロの中河川であり、土砂が堆積し

河川敷には高さ数メートルの雑木が繁茂する荒廢河川でありました。しかし、兩岸に広がる三千六百ヘクタールの水田の排水に加え、最近では平川、浪岡、小田川の各土地改良事業の排水路がいずれも合流することとなつたため、わずか五十ミリの降雨にも溢水し、また排水不能となるありさまで、地区住民は旧十川の改修の早期着工を熱望しておりました。

四十年程度の治水五年計画を見ても、東北管内の四十二年度末における進捗率は約六十五%と進んでおりますが、その内容があまりにも大河川中心に片寄り過ぎてはいなかつたか、また農業政策との関連において、治水問題が軽々に扱われてはいなかつたか、種々の疑念を抱かざるを得ないのであります。

本川岩木川は下流部分の改修がほとんど完了しておりますので、そのために未改修部分の支派川に集中的に負担が加わり、現に岩木本川の逆流が溢水したともいわれております。本川の改修とあわせて、関連する中・小支派川の改修にも十分な配慮の上水系



(旧十川を橋上より調査する一行)

＝ 明治100年 ＝

勉強 十戒

- 一、学習の計画を立てよ、計画のないところに成功はない。
- 二、精神を集中せよ。集中の度合いは理解の度合いである。
- 三、無駄を省け。戦略の第一は時間の合理的配分である。
- 四、自己のベースを守れ。他をみればスピードはおちる。
- 五、勉強法を工夫せよ。興味ある勉強は能率をあげる。
- 六、断じて中途で止めるな。中断はゼロである。
- 七、成功者の言に耳を傾けよ。苑を照らす灯だ。
- 八、現状に対して素直であれ。批評家になるのは合格してからでよい。
- 九、謙虚に反省せよ。向上へのクツションである。
- 十、大胆にして細心であれ。小心と粗放に勝利はない。

(赤尾好夫)

一貫の治水対策の確立が絶対必要であると痛感いたしました。

また、同行した建設省河川局長の坂野重信氏は、各委員の質問につきのようにお答えしました。

「(前略)本年度におきましては直轄河川の事業費よりも中小河川の、補助河川のほうの事業費のほうが上回つておるといふ歴史的な一つの変遷を来たしております。新五か年計画におきまして、ひとつ中小河川あるいは都市河川といふものを重点的に実施していきたいというふうな考えをお持ちです。岩木川につきましても、必ずしも本川は完成段階に至つておりません。

しかし最近の雨の降り方が、岩木川全体として一様に雨が降るといふような気

象現象が少ないということもございまして、どちらかというと支川の小さな旧十川等の災害がふえております。

旧十川につきましてはいろいろ原因があるわけでございまして、流域の開発が急激に進んで宅地化が進んできたというふうな関係もございまして、私どもその辺を十分勘案いたしまして、ひとつ特に旧十川につきましては、明年度あたりから、少なくとも局部的にもひとつ事業の着工をはかつてまいりたいということで、目下いろいろな調査を実施中でございます。」

以上のような河川局長答弁にあるように、河川局では積極的に旧十川に取り組み、十一月十五日には渡辺補佐、野呂事務官、東北地方建設局長らが、市内の関係地域を現地調査し、その見通しは明るいものとなり、総事業費十億円という地域住民永年の念願の旧十川改修工事は、松野木川改修工事と併わせ早ければ来年度からでも本格的工事に着手するのではないかと思料できるようになりました。

栄小学校在県一に

保健教育優良校決まる

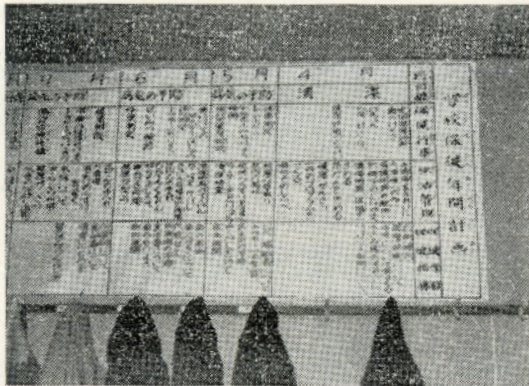
県教育委員会では、本年度の学校保健教育活動の優良校を審査していましたがこのほど栄小学校（小笠原尚一校長・児童四二〇名）を市内初の県一に決め、十二月十八日頃同校で伝達表彰することになりました。

この審査は、さきの書類審査と去る十月二十八日の石崎弘大教授、辻原稔副会長、古川県教委保健体育課指導主事の校内審査によるものです。

これまで同校児童が、国や県や近隣の学校の平均に比べて、体位が数字的に劣っていることを確認した同校では、その原因の究明と同時に、体と心と生活を土台にして健康で勉強にはげむ子にしようと、体力づくり三年計画を考え組織活動保健管理・保健教育を基本とした二十一項目にわたる

学校保健年間計画を重点的に教育目標にとりあげ、対馬昭幸校医をはじめ小笠原校長、一戸教頭、阿部保健主事、今養護教諭、木村PTA会長を中心に全教員が文字どおり一丸となつてとりくみました。

とくにまた、児童の自主的な保健活動の発表の場である「私の研究」や「くらしの研究」「健康教育の歩み」など数多くの健康記録集が効果をあげているようです。



(効果をあげてる学校保健年間計画表)

十二月一日から二十五日まで、共同募金運動の一環として第十八回歳末助け合い運動が全国いつせいに開催されています。

この運動は、NHK、中央共同募金会、HNK厚生文化事業団の共催厚生省郵政省、全国社会福祉協議会の後援で行なわれるもので、市民の善意はもよりの郵

みんなで明かるいお正月を

きびしい年の瀬が、もうすぐそこまできています。恵まれない方々に、いくらかでも暖かい正月を過ごさせてください。

便局や市福祉事務所受付けています。市社会福祉協議会では、市老人クラブ連合会、市民牛児童委員連絡協議会、市婦人連絡協議会、市青年団協議会、市町内会連合会、市身体障害者福祉会、手をつなぐ親の会などに幅広く呼びかけ、市民の協力を待っています。

年末です
大金の持ち運びには充分なご注意を。
二人以上で、車を利用しましょう。
スリはあなたを狙っています。

五所川原地区防犯協会
五所川原警察署

目標額まであと一息

市共同募金運動
十月一日からはじまつていることしの共同募金運動は、市民の善意を結集し、とくに児童生徒、先生方の協力があり、また市民児童委員連絡協議会、市身体障害者福祉会手をつなぐ親の会のみならず、非常な盛り上がりのおうちに進んでおります。この運動は十二月末日までですが、別表のように十一月末日までの中間募金のよ



(共募運動は10月1日の街頭募金で幕あけ)

街頭募金	23.100	上平井町	9.700	五南	6.032
手をつなぐ会	4.448	小曲町	9.500	小	4.640
栄	59.400	中平井町	9.300	小	4.158
三好	50.650	松島町2	7.900	小	2.260
田町	27.000	新宮末広町	7.500	小	2.140
寺岩木町	22.450	千鳥町	6.480	小	1.835
鎌谷町	20.250	弥生町	5.700	小	1.461
敷島町	18.200	東十川町	5.290	小	1.530
布屋端町	17.900	第1柳町	5.200	小	1.301
川崎町	15.210	松島町1	5.100	小	1.260
大つき町	14.200	成田町	4.500	小	1.065
新錦町	13.750	東雲町	4.270	中	911
柏原町	12.900	第2柳町	4.200	中	813
島町5	10.300	田園町	3.200	中	8.725
		松島町7	2.700	中	2.250
				中	2.167
				中	1.950
				中	1.751
				所	3.210

473.957円

市共同募金11月末日現在

鶴又さんが 藍綬褒章と県褒賞



(原 又三郎氏)

政府は今年秋の国家褒章の受章者を発表しましたが、市内本町原又三郎(60)さんが栄ある藍綬褒章を受賞し、この程東京芝浦公園機械振興会館で伝達をうけました。原さんは、昭和二十年十一月五所川原町商工会を設立し、終戦の経済混乱と、

昭和十九年、二十一年の再度にわたる大火による経済の再建不能の状態のときにあたり、会長として不眠不休の尽力をし今日の五所川原発展の基礎づくりをしました。また昭和二十二年には産業経済の再建発展は広域組織が必要であるとし、北郡全域を一丸とする社団法人北津軽郡商工会議所の設立を計画、設立発起人となり、推されて副会頭に就任、つづいて二十五年四月に会頭に推されました。昭和三十年特殊法人五所川原商工会議所に組織を変更し、会頭に推され本年三月退任まで、会頭・副会頭として二十一年余の長い間地方産業の振興に尽されました。原さんはまた、ことしの県褒賞も受賞しました。

長角さん 六度目の受賞は東奥賞



(長尾角左衛門氏)

昭和二十三年、東奥日報社では創業六十周年と紙令二万号を記念する事業の一つとして東奥賞を制定し、これまで県内産業経済・学術・文化・社会事業・スポーツなど各方面に著しく貢献、あるいは活躍した人々を顕彰してきましたが、こ

昭和十九年、二十一年の再度にわたる大火による経済の再建不能の状態のときにあたり、会長として不眠不休の尽力をし今日の五所川原発展の基礎づくりをしました。また昭和二十二年には産業経済の再建発展は広域組織が必要であるとし、北郡全域を一丸とする社団法人北津軽郡商工会議所の設立を計画、設立発起人となり、推されて副会頭に就任、つづいて二十五年四月に会頭に推されました。昭和三十年特殊法人五所川原商工会議所に組織を変更し、会頭に推され本年三月退任まで、会頭・副会頭として二十一年余の長い間地方産業の振興に尽されました。原さんはまた、ことしの県褒賞も受賞しました。

としまして第二十一回で市内鶴ヶ岡の長尾角左衛門(87)さん他三氏にきまり、東奥日報創刊記念日の十二月六日東奥日報社で贈呈式が行なわれました。

山内県知事に陳情を練り広げて以来、明治四十三年に岩木川改修期成同盟会の常任幹事となり、昭和七年には会長、さらに二十三年弘前市を中心とした岩木川関係団体の総合による岩木川水利調整会の副会長などを歴任、身銭まで切つて残した事業は広大な開田として残り、岩木川の治水のみならず、十川の堤防などにも「長角堤」の名称が残つている程「治水の父」として有名です。

以上のように長尾さんは明治年間から、治水と制水に主導的な役割りを果たしたほか、浅瀬石川の河水統制事業では国内の先駆者として多目的な沖浦ダムを完成させ戦後も目屋ダム着工の原動力となつています。これらの業績によつて昭和七年藍綬功労章、同十八年紅綬功労章、同二十八年

藍綬褒章、同三十五年日本河川協会長賞、同三十九年勲五等旭日双光章などを受章しました。

長尾さんはまた、若いころから三好村議会議員六期三好村長、北津軽郡議会議員四期、県議会議長、市議会議長を勤めたほか終戦後「三好村誌」一昨年「岩木川物語」の大著を世に出し、現在も「思い出」の執筆と国土地理院発行の五万分之一の地図の誤りを是正するために心血を注いでいます。

市役所に勤勞 感謝

十一月二十三日は勤勞感謝の日で、お役所、会社などは休日です。市内のたいていの保育園幼稚園では、勤勞感謝の行事を二十二日に行ないましたが、市内中平井町幾代が丘保育園でも数班にわかれそのうち年長組のタンポポのクラス二十四名が、主任保母の岩川先生といつしよに市役所を訪問市長室で岩館助役に花束を贈り、おみやげを贈られ大喜びでした。

ら二十二日までです。あて名は省略しないで郵便番号、部道府県名から番地まで、同居人あてのときは世帯主名などの肩書き、自分の郵便番号も忘れずにお書きください。年賀状を多数お出しになるときは市内、県内、その他というように、別々にたばね、表面に「年賀郵便市内」「年賀郵便その他」と書いたふせんをつけてお出しください。なお官公庁や会社などで、年始めに休業されるころへは、お申出によつて年賀状を年内でも配達しますから、あらかじめご連絡願います。

お年玉つき年賀はがきは昭和二十四年から発行されましたが、そのときの発行数は一億八千枚で、これは十五億枚です。国民一人あたり十五枚ということになります。毎年発行される年賀はがきの寄付金を合計しますと二十一年間で百億円以上になります。これらのお金は老人ホームや母子寮等の淋しい生活をしている人々のため、またガン、結核小児マヒ等の研究等に使われています。



(おみやげを貰って大喜びの子ども達)

年賀状は22日までに出してください。例年どおり年賀状の特別取扱いは、十二月十五日か

誇りと希望の明るい歌を 明治100年記念市民歌募集

市では、明治百年記念として五所川原市民歌をつくることになりつぎによつて応募していただきます。どしどし応募してください。

◇内容 西北津軽の中心地であり、めざましい発展をみせている五所川原市が明治百年記念として将来の

進展を表現、市民が誇りをもつて希望に満ち、明るく愛唱できるもの

◇募集切 来年二月十五日

◇形式 一節七行以内で三節程度

◇用紙 四百字詰原稿用紙を使用、一人二編までとし、一編ごとに住所、氏名、年令、職業を記入してください。

◇賞 入選一編三万円、佳作二編五千元

◇審査 つぎの市民歌審査委員会が、応募した歌詞の審査にあたりますが、入選作でも五所川原市民歌として足りない点は補作することがあります。

審査委員長―増田桓一、委員―藤田桂三、平山貞之助、一戸呉六、小山吉之助、成田千空

◇入選発表 来年四月の予定。ただし市民歌の発表は来年八月市制施行十五周年記念五所川原夏まつりの予定

◇応募先 市役所企画総務課 市民歌募集係

サイレンが鳴ります

市が高瀬地区に誘致した北越ヒューム管工場では、始業から終業まで一日に九回もサイレンが鳴ります。火事と間違ふといけなないのでお知らせします。

火事だ!! 一一九 赤電話は通じません

火災が発生しますと「火事はどこですか」と、よく一九番へ問い合わせる人がありますが禁じられていふことですから止めてください。一九番はあくまで火災通報電話です。

また火災通報は、消防署員が確認するまで、おちついてはつきり通報してください。消防署員が確認しないうちに一方的にあわてて喋りまくつて送話器をおく人がありますが大変なこと

です。なお、赤電話やピンク電話で火災を通報する場合は必ず十円を入れないで、電話の管理人から鍵を借りて鍵をかけてください。

前のままで鍵をかけないで十円を入れても、一方通話で消防署からの話しは聞こえますが、通報者の話しはぜんぜん消防署に聞こえません。

成人の感想文を募集

市教育委員会は来年度人になる人の意見や感想文を募集します。

これは成人式を迎えるにあつて、社会人としての覚悟をあらたにし、勤労および学習のよろこびと自分の立場や体験をおとしての意見や感想文を募集するものです。

ドラム缶は届出を

ことし市内の油火災14件

市消防本部では、市内の油火災が十月末日現在で十四件も発生したため、この程市内の油類販売業者に集まつてもらい、市火災予防条例による、あき地のない消費者にはドラム缶で灯油を売らないよう協力を要望しました。

市火災予防条例によれば

応募資格は昭和二十四年中に生まれ、現在本市に住民登録している人で、希望者は五分七分以内で発表できるよう、原稿用紙五枚以内にまごめ、住所、氏名、生年月日、職業または勤務先を明記して、市教育委員会成人式保あて十二月二十日まで送ってください。

市教育長および市社会教育委員が審査し、優秀三位までに賞状、賞品を贈ります。また来年一月十五日市教育委員会が主催する成人式でこの三名に発表してもらいます。

すべての税金を完納して新しい年を迎えてください

市では十一月一日から十二月二十八日までを市税完納強調月間に定め、納税者の皆様にご協力をお願いしております。お手許の納税通知書を今一度あらためてください。市県民税、保険税とも納期限は十二月二十八日です。

また、つぎの金融機関でも税金を納めることが出来ます。

- 青森銀行、弘前相互銀行
- 青和銀行、津軽信用金庫各支店、西北信用組合、青森銀行原子支店、浪岡信用金庫七和支店、市農協三好支所。

なお、市内の納税貯蓄組

合は、百六十八組合で六千二百四十世帯が加入しています。組合員の方は計画的な納税準備予金で、すべて完納されております。まだ組合に入っていない方は、納めやすい納税貯蓄組合にすぐ加入してください。

保育所入所児童募集

市では、つぎにより来年四月一日から保育する児童を募集しています。

◇受付期間 十二月一日から二十日まで

◇対象児童 家庭保育ができない事情にある就学前までの乳幼児。

◇市が実態調査の上、入所決定します

◇受付場所 市福祉事務所、市役所の各支所及びつぎの各保育園

- ◇保育園名及び募集人員はつぎのとおりです。
- 柳町・五所川原保育園百二十名、飯詰・若葉保育園六十名、鶴ヶ岡・三好保育園六十名、湊・さかえ保育園六十名、藻川保育園六十名、まつしま団地保育園九十名、川山・中川保育園六十名、羽野木沢・七和保育園六十名、鎌谷町・かまや保育園六十名(来年四月一日新設・開設者木村京子)
- 米田(松島小学校前)津軽野保育園六十名(来年四月一日新設・開設者渋谷守夫)

市職員募集

- ①採用職種 一般事務職
- ②採用人員 若干名
- ③試験期日 来年一月十九日(日)
- ④試験方法 筆記試験・作文
- ⑤試験科目 一般常識・
- ⑥受験資格 来年四月一日現在で、高校卒の場合は二十三才以下、大学卒の場合は二十五才以下の者(来年三月卒業見込みの者を含む)
- ⑦受験申込 返信用切手を同封のうえ人事課に申込んでください
- ⑧申込書提出期限 十二月二十三日必着